

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2010. 2. 8

No.1941
No.24



出席率	会員54名中38名
先々週の出席率	91.67%
ゲスト	2560地区国際奉仕委員長 立川龍雄様（新潟東RC）
ビジター	燕RCより 小田島藤吉君 鳥部文雄君
先週の メイクアップ	2/2 三条北RCへ 坂井範夫君 2/6 地区運営会議へ 馬場信彦君 荻澤喜一郎君 野島廣一郎君



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

こんにちは。挨拶をさせていただきます。

2月は「世界理解月間」です。月間に際しまして立川地区国際奉仕委員長にゲストスピーカーをお願い致しました。立川委員長におかれましては他の用があったにもかかわらず、日程を変更して我が南ロータリーにお出で下さいました。本当に有難うございます。本日の卓話楽しみにしております。

先週、例会時間が足りず「ロータリーの友」の紹介が出来ませんでしたので、ここで少しお話させていただきます。

“ロータリー平和フェローの経験を生かして”をテーマに寺西悦子さんの文章が載っております。“ロータリー平和フェロー”という言葉を知らず、読んでいきますと、

ロータリー財団による教育的プログラム。「国際問題研究のためのロータリーセンター」による世界の8つの大学で学ぶ奨学生。初め「ロータリー世界平和奨学生」と呼ばれていたが、2005年2月のロータリー財団運営委員会で「ロータリー世界平和フェロー」と名称が変わり、2009年10月の同委員会で、その略称が「ロータリー平和フェロー」と改まった。

とのことです。

また、縦組みには、馬場年度の地区大会にRI会長代理としていらっしやいました姜順鉉第3720地区パストガバナーの第2530地区地区大会での記念講演の要旨が掲載されております。地区大会では当メンバーは運営に手一杯で姜RI会長代理のお話はほとんど聞くことが出来ませんでした。この講演の内容については読んでいただくとして、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサは、「どれだけたくさんのものを与えるかではない。大事なのは、どれだけ満ちあふれる善意と思いやりの心を与える

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三条北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

かである」と諭し、ポール・ハリスは、「ロータリーとは、誰かに何か良いことをしてあげることによって得られる幸福であり、それによって世の中をより明るく美しいものにする運動である」と定義しています。

姜パストガバナーは、「奉仕とは、社会に恵まれない人たちのために自分の心と体と物質を施す行為である」と定義します。心とは善意を意味し、体は実践することであり、いくら多くの物質を施しても、そこに善意と思いやりの心がプラスされていないと、それは真なる奉仕ではありません。」と書かれてありました。

奉仕の概念を変えなければと思いました。まだ読んでおられない方は是非ご一読をお願い致します。

よこそ 三条南ロータークラブへ

燕RC創立50周年記念式典 ご案内

燕RC 幹事 鳥部 文雄君
副実行委員長 小田島藤吉君



皆様のご支援をいただきながら創立50周年を迎えることが出来ましたこと感謝申し上げます。

このような経済状況の中、会員が減少しておりますが、「この50周年記念式典開催に元気をとり戻そう」の合言葉の下、一致団結し、準備を進めております。多くの皆様のご出席をお願い申し上げます、燕RCにどうぞ元気を下さい。

日時 2010年 4月10日(土)
登録 12:30~13:30
式典 13:30~15:00
祝賀会 15:30~17:15

会場 燕三条ワシントンホテル
記念講演 NHK文化センター 支社長 齋藤洋一郎氏

委嘱状伝達

2010~2011 年度地区役員

- 馬場信彦君・・・地区諮問委員、地区研修リーダー、地区拡大カウンセラー、意義ある業績選考委員
野崎正明君・・・ロータリー財団/ ポリオプラス委員長
田代徳太郎君・・・ロータリー財団/ 年次寄付・恒久基金委員長
安達 裕君・・・ロータリー財団/ GSE委員

幹事報告

荒澤 威彦 幹事

ロータリーの友事務所より「2010~11年度 ロータリー手帳」のご案内

※ 手帳ご希望の方は事務局までお申込み下さい。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 2月8日 16,000円
今年度累計 446,000円~

- 新潟東RC 立川君 親愛なる三条南ロータリーの皆さん、本日は卓話にお招きいただきました。よろしくお願い致します。
- 燕RC 鳥部君 小田島君 4月10日に創立50周年記念式典を挙行致します。多くの皆様のご出席を宜しくお願い致します。
- 佐藤(嘉)君 地区立川国際奉仕委員長、本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。燕RCの鳥部さん、小田島さん、50周年PRご苦労様です。必ず出席させていただきます。
- 田代君 本日は、地区国際奉仕委員長の立川様をお迎えし、卓話をお願いしました。立川様、宜しく願い致します。

- 馬場(信)君 立川龍雄次期GSE委員長の卓話を期待しています。野崎正明さん、6日(土)には大雪の中、上越市から三条まで無事に届けて下さり有難うございました。
- 野崎君 国際奉仕委員長 立川さん、本日はお忙しい中、卓話にお出で頂きまして有難うございます。宜しく願い致します。
- 安達君、鈴木(武)君、野島君 立川地区国際奉仕委員長、本日は有難うございます。
- 田中君 天気晴。気分晴。
- 坂井(範)君、野水君、馬場(一)君、若井君 渡邊(久)君 BOXに協力致します。

「国際奉仕委員会事業と世界のロータリークラブ事情」

R I 第 2560 地区国際奉仕委員長
立川 龍雄 様 (新潟東RC)

ご紹介いただきました立川龍雄です。馬場ガバナ一年度に地区の国際奉仕委員長を仰せつかり、1年間何とか無事務め上げることができ、今年度も居残り引続きこの役に就いております。

今日は雪深い新潟市より参りました。70cm程積もっており、新潟駅までの表通りは除雪がなされておりますが、住宅地に至っては全く除雪されず、いまだに車が出せないような陸の孤島状態です。雪深い新潟から雪の少ない三条に来るといようなことは二度とないのではと思っております。

先ほど名簿を見せていただきましたら、会員数54名、女性会員がおられない、私が所属しております新潟東クラブとよく似ています。私は、クラブでは会員増強の関係を務めておりますが、これからの会員増強には女性会員は不可欠な存在であると他のクラブを訪問して感じておりますし、国際ロータリーでは女性のいないクラブは半端なクラブなのだそうです。三条南さん

はどのようなお考えで女性会員がおられないのかわかりませんが、私の個人的な気持ちの中には躊躇するものがございます。こんなことを申しますとR Iからお叱りを受けてしまいますが。

今月は「世界理解月間」です。この月間に際しましてジョン・ケニーR I会長は「世界理解と平和に貢献する」と難しいことを言っておられます。今月号の『友』の1ページに詳しく載っておりますのでご一読いただければと思います。

「水、保健と飢餓追放、識字率向上といった私たちの奉仕活動は平和に対する現実たる障害を取り除くのに役立ちます。そして、私たちのロータリー財団やロータリー青少年交換プログラムは平和な世界を作る担い手として明日のリダーを養成し、一歩先を見据えて行動を行う…」と書かれています。

地区の国際奉仕委員会についてお話をさせていただきます。国際奉仕委員会には、2つの小委員会があります。

- 世界社会奉仕委員会・友情交換委員会
- 青少年交換委員会

【世界社会奉仕委員会・友情交換委員会】

世界の各クラブと姉妹クラブや友好クラブを作ったりすることを担当しています。2560地区での姉妹、友情交換クラブの現状は別表をご覧ください。

【青少年交換委員会】

- 一年交換学生…世界から毎年高校生を5人位受入、そして5人位派遣しています。
- 夏期交換学生…夏休みだけの短期間、ドイツと派遣・受入交換学生事業を行っています。

一年交換学生につきましては、今年度は、アメリカへ2名、ブラジルへ1名派遣、受入に関しましてはアメリカから2名、ブラジルから1名、タイから1名来ております。

ちょうど明日から1泊赤倉でスキー研修を行う予定が入っており、私も引率者の一人として参加して参ります。この事業は30数年間やっておりますが、以前はロータリーメンバーのお嬢さん、息子さんが派遣学生として留学しておりましたが、今はそれがなくなりました。

地区がこの事業にどれほどの費用を充てているかご存知ですか？

年間会員一人当たり3,500円のご負担をいただいております。地区で一番費用のかかる事業です。

どうぞ、皆さんのお子さん、お孫さんで関心のある方は、是非、この交換学生事業にご参加いただければとお願い申し上げます。

私は最近、会社の組織編制をし責任者をおきましたので、少し時間に余裕が出来、以前から海外旅行好きでよく出かけていましたが、さらにその機会が増えました。行くと必ずその地区のロータリークラブを訪問しています。世界で50クラブほどメイクアップ致しました。そこでのお話を・・・。

つい最近、オーストラリアを旅行し、ゴールドコーストのロータリークラブへメイクアップしました。例会場のホテルに参りましたが、何の看板も出ていません。ただ、会議室の前に、オーストラリアの国旗が一つあります。ここかなと思って入りますと、女性が15人、男性が15人のちょうど半分半分の30名のロータリークラブでした。部屋の中にはロータリー旗もなければR I会長のターゲットも何もない、ただそこでおばさんとおじさんがロータリークラブをやっている、ただ和気藹々と老人クラブをやっていると感じさせられてしまうようなクラブでした。平均年齢75～80歳位でないでしょうか。現に土地柄、余生を楽しもうとマンション等に移り住んだ人たちがつくれたクラブでした。

卓話をしてほしいと頼まれましたので、「英語が話せない」と申しますと「知っている単語を並べれば通じる」と言われ、10分ほど知っている単語を並べて日本のロータリーを紹介してきました。「日本のロータリーはもっと礼儀正しく、国旗、ロータリー旗、テーマ幕をきちんと並べ例会をちゃんとやっている、お宅ロータリーはおかしい」と話したら、後でたいそう文句を言われました。「そんなことはお宅のクラブがやっていること、うちのクラブはこれで和気藹々と楽しくやっているのだから…」と怒られてしまいました。

先程ご紹介いただきましたが、GSE（研究グループ交換）のチームリーダーとして横山ガバナー年度、韓国に1ヶ月行って参りました。私の所属クラブがソウル西クラブと姉妹クラブを結んでおり、その関係からリーダーの任に着かされたわけです。

韓国はRI会長も出してもおりますのでロータリーにとっても熱心です。ソウル地区には100いくつかのロータリーがありますが、その中に女性だけのクラブが25、6あるそうです。男女一緒のクラブは田舎にしかなく、ソウル地区の大都会では女性は女性でクラブを作っています。そして、どのクラブも会員数が多く、60名程のメンバーを擁しています。

昔からの仲間が昨年ソウル地区のガバナーになり、「ぜひ地区大会に来てくれ」ということで、女房を連れて行って来ました。その折、「まだ5つ位女性のロータリークラブの公式訪問に行っていない、一緒に行ってくれ」と頼まれ、私も興味がございましたので同行致しました。日本と同様に12時半から例会が始まり、1時半終了。帰ろうと思っていましたら場所を変えて二次会が設営され、あの美味しくもない眞露を飲まされて延々と夜の10時半まで。大変な思いを致しました。その後も4つの女性クラブを訪問、結局3泊4日の地区大会参加旅行が6泊になってしまいました。いやはや韓国のパワーはすごいです。

韓国は確かにロータリークラブが盛んです。しかし、私どもの姉妹クラブ、ソウル西クラブは、商工会議所会頭、韓国銀行頭取、証券取引所理事長とか錚錚たるメンバーが揃う名門クラブですが、封建的で若い人の入会にも厳しく、全く面白みのないクラブです。結局将来有望な若い人を入会させませんから平均年齢も80歳、最年少者で75、6歳です。姉妹クラブを結んでいますので、1年に1回は訪問しますが、今は私だけ。我がクラブのメンバーもあんなクラブに行っても面白くないと年々減っていった次第です。

世界にはいろいろなロータリークラブがあります。アメリカですが、全部で25、6回っています。

昨年、一年交換学生を派遣していますオレゴン州のポートランドという都市があるのですが、そこでロータリーの一年交換学生が失恋した若い男にライフル銃で乱射されるという事件が起きました。一緒に8名のロータリーの仲間たちがいたのですが、ロータリーメンバーは誰も怪我をしなかったのですが、交換学生2名がその場で即死しました。いつもですとそこへ当地区からも行っているのですが、たまたまそのときはニューヨーク州に派遣されていました。テレビ等でもそのニュースが流れましたので皆さんもご存知かと思いますが。

先月の末、そのポートランドの地区青少年交換委員長から「何故、ポートランドとの青少年交換をやめたのか」との電話があり、その後、新潟の湯沢まで交渉にやって来ました。一晚、湯沢の安い民宿に泊まり話し合い、来年からまたポートランドへの青少年交換の再開が決まりました。

一つ、アメリカに面白いロータリークラブがあります。フェニックスにボーイング社という旅客機を造っている会社がありますが、あの会社は、本当は軍事産業で儲けている会社で、日本の自衛隊も買っていますファントムFなんとかという飛行機で儲かっているのです。そこを見たくて何回もメールしたのですが、「当工場はシークレットで一般の方には見せることはできません」という返事、それでも諦めきれずいろいろ調べましたらボーイング社は2万人位の社員がいるのですが、その中に、「ボーイングアパッチロータリークラブ」があるのです。企業で初めて重役たちで作ったクラブです。そんなこんなでボーイングアパッチロータリークラブにもぐりこみました。そして、その会長に「工場を見せないという話だけど、俺はわざわざお宅の工場に見学をしたいために来たのだ」と少しオーバーに言ってゴマをすりしました。そうしましたら3時間も見せてくれました。私に見せてくれた工場で作っているのは「アパッチ」。世界最強のヘリコプターで、2人乗りのミサイルも積める、核も積めるただプロペラがついているというだけのまさに戦闘機です。日本の自衛隊も13機持っています。このアパッチ、いくらかと尋ねますが言いません。絶対に誰にも話さないと約束しますと、耳元でそっと教えてくれました。日本円で20億位とのこと。そして「日本の自衛隊はこれをいくらで買っているかわかるか」と聞いてきます。「分かるわけがない」と答えますと「約100億円」。日本の商社のでたらめさを感じました。

アパッチロータリークラブの例会場、さすがボーイングです。楕円形の革張りのシートがあって、そこで女性が5人いました。企業の中にロータリークラブがあるというのはボーイング社だけです。

2年前、やはりGSEでアリゾナに1ヶ月行ったのですが、その時には三条地区でも大変お世話になりました。アリゾナへは軽い気持ちで行ったのですが、一年中で一番暑い日、毎日40度の暑さ。15くらいはロータリークラブを回ったのですが、そのうち7つが暑くて昼間やれないので朝の6時半から7時半までのモーニングクラブになっています。ホームステイ先から150k、200k離れています。6時半の例会に間に合うように朝4時半起きです。

向こうはホテルには泊めず30日間全てホームステイです。それもパストガバナーの家、うるさい奥さんに毎朝叩き起こされ、300mも離れた門まで新聞を取りに行かされたりこき使われました。その上、朝食は決まって牛乳をかけて食べるシリアルだけ、夕食は塩コショウだけで焼いた歯ごたえがあり過ぎて噛み切れないステーキ。30日間地獄の特訓でした。毎日毎日忍耐の日々を送りました。

そんな中、1つ良かったことが…。ジャックニコラス、ゲーリープレーヤーの時代にマスターズによく出場して

おりましたブルジョンソンというアリゾナロータリークラブのメンバーでゴルフ場経営のシニアがおります。75歳だそうですが、彼と一緒にゴルフすることが出来たのです。マスターズに出たことがあったとしてももう75歳だからと高をくくっていましたが、彼は34、35で周りました。私は46、45でした。「一週間私のところで合宿すれば少しは上手くなるかも、ただで教えてあげるよ」と馬鹿にしてくれます。そして、18ホール終わりました。その18ホールの横に建坪300坪の白い豪邸があったのです。そこが彼の家でゴルフ場も彼の持ち物でした。アリゾナがいくら土地が安いといってもゴルフ場のオーナー、素晴らしい豪邸、大変なお金持ちです。そこに一週間居られたらいいなと思いましたが、役目柄それは無理なこと、諦めました。そんなロータリアンもおります。

まとまらない話でございましたが、世界にはいろいろなロータリークラブがあり、いろいろなロータリアンがいるということをご報告申し上げました。ご静聴ありがとうございました。

RI第2560地区 姉妹・友好クラブ

2008年7月22日現在

クラブ	姉妹・友好クラブ		クラブ	姉妹・友好クラブ	
	国内	海外		国内	海外
第1分区分			第5分区分		
新発田	沼田RC 加賀RC	蘆洲重陽RC(台湾)	長岡 柏崎	前橋東RC	
村上	鯖江RC 桐生南RC		長岡東 柏崎東	佐渡南RC	
水原			栃尾	桐生西RC	
中条		カーボンデールRC(米国)	長岡西		釜山忠烈RC(韓国)
新発田城南	函館亀田RC	セ・ウルサンRC(韓国)	柏崎中央		
豊栄			第6分区分		
新発田中央	安中RC		十日町		コモRC(イタリア)
中條胎内			小千谷	新潟中央RC	
村上岩船		西安養RC(韓国)	雪国魚沼	前橋東RC	
第2分区分			十日町北		
新潟	前橋RC	香港島東RC(香港)	津南	津南RC(三重県)	
新潟東	高崎北RC	ソウル西RC(韓国)	越後魚沼		
新潟南	高崎南RC 高崎セントラルRC	台中南屯RC(台湾)	第7分区分		
佐渡	群馬塚RC		高田	清水RC 米沢上杉RC	
新潟西	宇都宮西RC		直江津	岩内RC	西浦項RC(韓国)
佐渡南	館林RC 柏崎東RC		新井		
新潟北	前橋北RC	冠岳RC(韓国)	糸魚川		
新潟中央	太田中央RC 小千谷RC	ソウルコリアナRC(韓国)	妙高高原	千葉南RC	
新潟万代	沼田中央RC	ホルルサンライズRC(米国)	高田東	館林東RC	板橋東RC(台湾)
第3分区分			糸魚川中央		
新津			頸北	高崎東RC	
村松			越後春日山	甲府西RC 米沢中央RC	
五泉					
白根		光明RC(韓国)			
新津中央					
阿賀野川ライン		台北南華RC(台湾)			
第4分区分					
三条		新竹城中RC(台湾)			
燕					
加茂		アパチャンスキーRC(ロシア)			
三条南					
分水					
見附	館林西RC				
吉田		抱川RC(韓国)			
三条北					
巻		アルターウッドRC(米国)			
田上あじさい					
三条東					



月信

2月号



国際ロータリー第2560地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

「世界理解月間に向けて」

—あなたも国際人になろう—

国際ロータリー
第2560地区 2009～2010年度
ガバナー 植木 康之



国際人として、世界の一員として世界から嫌われない、むしろ愛され尊敬される日本人になるには、まず相手の国を心から尊敬することでしょう。そして相手国の歴史や国民の生活環境をよく知り、それを尊ぶことではないでしょうか。毎年、海外へ多くの日本人が行っておりますが、訪問国に日本の生活習慣を持ち込んでいないでしょうか。

外国の多くの国では、顔を合わせるとお互いに微笑み合いますし、エレベーターに乗っても、何階に行きますかと声をかけたりします。日本はレディー・ファーストも十分に身につけていないし、エレベーターに乗ってスイッチのそばに立っても、ほとんどの人が一緒に乗った人に「何階に行きますか」と、声をかけないと言われています。外国語が自由に操れないからかも知れませんが、人を思いやる心は持ちたいものです。そして、特に日本人に目立つのは、集団でしか行動の出来ないこと、そして、集団になるととたんに行儀が悪くなり、騒がしくなることです。「郷に入っては郷に従え」という言葉がありますが、訪問国においてはその国の文化、習慣を尊ぶのでなければ、心の通った交流はできないと思うのです。海外における日本人のマナーの悪さは新聞や本にいろいろ取り上げられていますが、このマナーの悪さが日本国内でも見られたことは大変寂しいことです。

少し古い話になりますが、昭和59年11月に女子ゴルフのマツダ・ジャパン・クラシックの最終日、岡本綾子がギャラリーのマナーの悪さに泣き出した記事を読んでいる人も多いかと思います。この大会は全米女子ゴルフ協会のツアーの最終日も兼ねており、岡本が優勝すれば賞金女王にもなれるのでした。12番ホールを終わったところで、前日までトップで来ていたオーストラリアのジャン・スチーブンスンと岡本がトップに並びました。13番ホールでは岡本がミス・ショットで2打遅れをとりました。14番ホールでは、スチーブンスンがバンカーからの第3打がカップから5メートル越え、次のパットがわずかに外れ、カップに入りませんでした。その時、観客の中から「ナイス・ボギー」という声が寄せられました。スチーブンスンはその観客に向かって「マナーが悪いわね、失礼ね」と英語で抗議しました。岡本もギャラリーに歩み寄り「何てことを言うの、みんな一生懸命やっているのに。同じ日本人として恥ずかしいじゃないの」と怒りを爆発させ、そのとたん岡本の目から涙がどつとあふれてしまったのです。

10番ホールでも、スチーブンスンの打ったボールが木に当たったときにも「よし」と言う声が観客から寄せられたとのことでした。ゴルフは非常に精神的なものが左右するスポーツといわれています。地元のゴルフ場で、地元の優勝候補である岡本が出場し、トップ争いを演じているのですから力が入るのは当然といえ、やはり外国から参加している各選手への細かい心配り、温かい声援がほしかったと思います。

まさに私達の日頃の態度が大切なのです。いざという時に、本心がついて出まします。私達は身近なマナーを守って行くと同時に、相手のことを思いやる心を持って一人のロータリアンとしても、家庭でも、仕事でも、そして奉仕活動を積み重ねて行くことが大切なのです。

この辺でちょっと一休み

江戸小咄

一方通行

「こうちよくちよく質の利息があがっちゃやーやりきれねーな」

「そうか、そりゃこまるだろうな」

「あれっ？てめーあ質にいられたことねーのか？」

「あるとも、大ありのこんこんちきだ。年中入れているが、受け出したことがねーから利息のたかーなんざ知るもんか」

(文政九流行行咄安売)

東京銀座元会員・

岡田晃雄著

「江戸小咄和英文柄」より

表紙について

小野 竹喬 (おの ちっちよう)

岡山県笹岡出身(1889-1979)

■「冬日帖(とうじつちよう)」より

1929年(昭和3年)作 京都市美術館蔵

ロータリーの友 1991年2月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2010. 2. 8

No.1941 No.24